

“いきいき子ども！あたたか家族！はつらつ先生！” 地域が支える【教育の板橋】

“学び合う、学び続ける人づくり！” 地域を創る【教育の板橋】

板橋区授業スタンダードS の実践がはじまっています！

板橋区授業スタンダードS

子どもたちが、自分に合った学習内容、方法、ペース、順序を
自己選択、自己決定し、学びを自己調整しながら進める学習過程

板橋区では、多様な子どもたち一人ひとりが、自らのよさや可能性を認識し、「生涯にわたって学び続ける力」を身に付けることをめざして「板橋区授業スタンダードS」に取り組んでいます。今回は、小中学校での授業実践をご紹介します。

自分で学び続ける力を育成する学習

～2025年の日本を救え！持続可能な社会保障制度を提案しよう～

中台中学校 木内 悠斗 主任教諭

第9学年 社会科 公民的分野「国民の生活と政府の役割」



社会保障制度について、一人ひとりが問いをもち、自分とのかかわりを考えながら追究しました。

教科センター方式のスペースを生かし、学び方を生徒が選ぶ

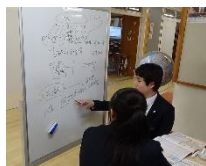
一人で学ぶ、友達と学ぶ、先生と学ぶ等、自分が安心して学ぶ方法を選択します。

子どもたちにどんな力がつくの？

学習の最後に、選択した学び方が自分に合っていたか、学習を通してどんな力が身についたかを振り返ります。子どもたちが社会に出てからも、自分で学び続ける力を育成することをめざしています。



教室を飛び出して学ぶ



友達と学ぶ



先生と学ぶ



学び方の改善策を話し合い、次の学びに生かす



新しい学びのあり方の追究

～大人も子どもも協働的に学ぶ～

志村第五小学校 校内研究

研究主任 竹内 健一 主任教諭

新しい学びのあり方を追究し、先生方も協働的に学びを深めています。

授業づくりから授業後の協議会まで、先生方の力を結集

志村第五小学校では、年間7回の研究授業を予定していますが、子どもたちの自己選択・自己決定・自己調整を取り入れた授業の経験がある先生はほとんどいません。子どもたちにどんな学習活動を選択させるか、授業の中で子どもたちの学びが本当に深まっていたのか、授業づくりの段階から授業後の協議会まで、先生方の力を結集して研究を進めています。



授業後の協議会は、先生たちの学びの場



今年度から、「板橋区授業スタンダードS」に本格的に取り組む先生が増えてきています。多くの先生にとって新たな授業の形にチャレンジする1年となっています。様々な学校で、若手の先生からベテランの先生までが、知恵を出し合い、子どもたちにとってよりよい学びのあり方を追究しています。



「板橋区授業スタンダードS」は、多様な子どもたちが自らの学ぶ意欲を生かし、かけがえのない個性を生涯にわたって伸ばしていく力を身に付けることをめざしています。各校で実践がはじまっていますが、学校の特色、子どもたちの実態によって、授業の形は様々に異なります。今回ご紹介した授業のあり方は1つの例です。ぜひ、お近くの学校の授業の様子をご覧ください。

家庭教育学級を公開しています！

家庭教育学級は、家庭教育に関し、身近な相談先が少ない、情報過多により適切な情報の取捨選択が困難、家庭環境の多様化による学校生活への適応難といった、課題対応を支援するために教育委員会が実施している講座です。

家庭内で保護者が子どもと接するにあたり、効果的なコミュニケーション方法や子どもの安全について、親子で一緒に考えることを内容とした動画を通じ、家庭における教育力の向上を支援します。

ご家庭での学びにお役立てください。

●新しく公開した動画

「親子で育てる自己肯定感！

わが子の可能性を引き出す親の“聴き方・話し方”」

Part 1（公開中）

自己肯定感の土台は親のあり方から

～親の教育力を高める勇気づけ～

Part 2（1月26日（月曜日）公開）

子どもの可能性を引き出す観察力と質問力

～コーチング的関わり方～

Part 3（2月2日（月曜日）公開）

失敗を成長に変える！自立を促すレジリエンスの育て方

～課題の分離と信頼～



●公開中の動画

①「思春期」の子に向き合う親子のコミュニケーション

②「信じて見守る！」は最強の子どもの支援

●視聴方法

二次元コードを読み込んでいただくと「チャンネルいたばし」（YouTube）からご視聴いただけます。

または、板橋区ホームページにて「家庭教育学級」でご検索ください。

※動画視聴後は、動画概要欄からアンケートにご協力をお願いします。

【問合せ】地域教育力推進課青少年係 ☎：3579-2488

みんながんばりましたね！

全国大会などに出場した個人で頑張っている児童・生徒を紹介します！

この他、都大会などでも多くの児童・生徒が頑張っています。

○FIRST LEGO LEAGUE Challenge 日本大会

・総合8位 フューチャー賞受賞

○FIRST LEGO LEAGUE Challenge

Asia Pacific Open Championships

・Asia Pacific Open Championships

Robot Design Award 受賞

TEAM NARIOKA Stella（チーム ナリオカ ステラ）

○第42回全国少年少女レスリング選手権大会

・レスリング30kg級 3位

高二小 4年 オルティス レオナ フェイ

○第31回世界年齢別トランポリン競技大会

・タンブリング 5位

・ダブルミニトランポリン 8位

高二小 5年 菅野 聖蘭

○第35回

日本クラシック音楽コンクール全国大会

・ピアノ部門 中学校女子の部 4位

加賀中 7年 澤中 咲希

○第47回全国JOCジュニアオリンピック

・アーティスティックスイミング

チーム種目 3位

上二中 9年 大塚 優愛



【問合せ】

教育総務課庶務係

☎：3579-2603

郷土資料館 没後160年記念展「高島秋帆～高島平のはじまり～」

高島秋帆は、長崎町年寄の家に生まれ、日本でいち早く西洋の砲術を取り入れた人物です。天保12年（1841）5月9日、秋帆は弟子99人とともに、武州徳丸原（現在の板橋区高島平一帯）で西洋式の大砲を使った演習を行いました。

秋帆は慶応2年（1866）に亡くなり、令和8年（2026）に没後160年を迎えます。本展では、高島平の地名の由来にもなった砲術家の高島秋帆を紹介します。

展示期間：令和8年1月24日（土曜日）から3月15日（日曜日）まで



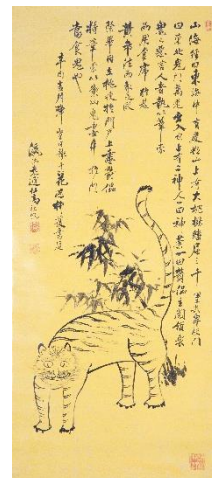
阿蘭陀直伝高島流砲術巻



大砲雛形
（長崎歴史文化博物館）



高島秋帆肖像画
（松月院所蔵）



高島秋帆の猛虎図
（長崎歴史文化博物館）



秋帆の家の釘を隠す飾り
（高島平の学校でも見かけるデザインです）



郷土資料館HP



伝秋帆脇差銘「天國」
（松月院所蔵）

【問合せ】郷土資料館 ☎：5998-0081

※開館時間 9時30分～17時（入館は16時30分まで）

※休館日：月曜日（ただし祝日は開館し翌平日休館）

中央図書館からのお知らせ

【問合せ】いたばしBOROニャ絵本係 ☎：6281-0560

令和7年度

「板橋区図書館を使った調べる学習コンクール受賞作品」
展示を行います

今年度も「板橋区図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、区内の小・中学生から多数のご応募をいただきました。

このコンクールでは、様々な疑問や興味を自ら解決し、作品にまとめる力を育みます。

また課題の解決と作品づくりを通して、図書館利用の促進を図ります。

力作ぞろいの中から選出された各部門の最優秀賞及び優秀賞作品の展示を下記のとおり行います。ぜひご覧ください。

- 期間：令和8年2月3日（火曜日）から8日（日曜日）まで
- 時間：9時から20時まで
- 場所：中央図書館 1階図書館ホール



令和7年度

いたばし子ども絵本展を開催します

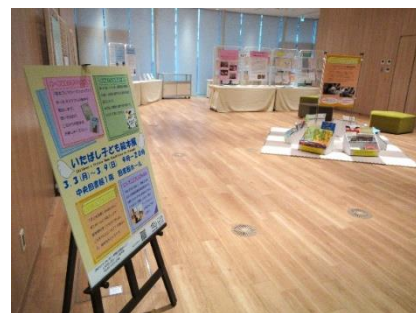
絵本づくりワークショップで小学生・中学生が作成した絵本の展示、「第32回いたばし国際絵本翻訳大賞」中学生部門入賞作品、令和7年度に子ども司書の認定を受けた児童による「私のひと棚絵本図書館」などの展示を行います。

皆さんのお越しをお待ちしております。

●期間：令和8年3月3日（火曜日）から3月8日（日曜日）まで

●時間：9時から20時まで

●場所：中央図書館 1階図書館ホール



昨年度いたばし子ども絵本展の様子

身近な教育委員会を開催しました！

令和7年11月2日に令和7年度第2回身近な教育委員会を開催しました。夜間の開催にも関わらず、多くの方にご参加いただきました。

第1部では「楽しい給食！～おいしく食べる作戦会議～」として板橋区の給食での様々な取組について報告をしました。

第2部ではグループに分かれて「給食をおいしく食べるために家庭・教室でできること」についてグループディスカッションを行いました。保護者や、地域のボランティア活動をしている方など、様々な方からいろいろな意見が出されました。その一部を紹介いたします。

- ・給食のレシピをもっと家庭に伝える。
- ・様々な教科と組み合わせた授業を行い、食に興味をもってもらうようにする。
- ・家庭でも給食の話をしたり、学校で食べたものを家庭でも一緒につくって食べたりする。

など多くのご意見が出されました。ここでは紹介しきれないご意見もたくさんあり、各グループとも大変、議論が盛り上がっていました。

ご多用の中、ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。



第2部グループディスカッションの様子

学校訪問の様子を公開しています

教育長の学校訪問記を随時ホームページにて公開しています。文章と数枚の写真で、学校の風景・授業の様子・特色ある取組などを紹介していますので、ぜひご覧ください。



こちらから
ご覧ください

新しい学校づくりを進めています vol.7

【問合せ】 新しい学校づくり課 ☎：3579-2632

板橋区では、学校施設の老朽化への対応として、区立小中学校を改築・改修し、より充実した学校生活を送るための施設整備を進めています。新しい学校施設をよく知っていただくため、近年改築・改修された学校や、今後改築・改修予定の学校の魅力を連載形式で紹介します。今回は、「災害に強い学校づくり」（前編）です。

----- 災害に強い学校づくりの例 -----

志村第六小学校×長寿命化改修

志村第六小学校は、令和6年度に長寿命化改修工事が完了しました。
校舎を長く使えるよう内外装を新しくするとともに、災害発生時の対応力を強化するための工事を行いました。

学校の機能をもっと地域のために

改修前は2階にあった家庭科室。長寿命化改修で1階ピロティに面した位置に変更しました。災害時には家庭科室とピロティを一体的に使い、炊き出しや支援物資の受け入れをすることができます。



▲ピロティ内の給電設備



▲手前が家庭科室、奥が校庭に面したピロティ 家庭科室

災害時の電力供給のよりどころとして

ピロティには、屋上のソーラーパネルから給電できる設備を新たに設置しました。災害時にも電力を要する機器の一部を使用でき、教育活動・避難所生活を支えます。

上板橋第二中学校×改築

上板橋第二中学校は、令和4年度に改築が完了しました。
学校と地域の交流スペース「上二テラス」を中心に、学校を核とした地域コミュニティの醸成を図っています。

平時も災害時も使える「かまどベンチ」

上二テラスで使われているベンチは、災害時に座板を外して組み立てることで大型の鍋が乗る「かまど」になります。災害時を想像させる設備を日常に取り入れることは、防災教育の一環としても役立つと考えています。



▲マンホールトイレ



かまどベンチ

▲かまどベンチが設置されている「上二テラス」

断水時にも使えるトイレを、みんなが使いやすい場所に

大規模な震災が発生した場合には、学校の水洗トイレが使えなくなる可能性があります。そこで、マンホールの上に簡易な便座を設け、し尿を直接下水道に流すことができる「マンホールトイレ」を、校庭の東側に3基設置できるようにしました。

出典：国土交通省“災害時に使えるトイレ”（参照2025-12-22）

URL：https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000411.html

新しい学校づくり課では、防災/工事関係部署と連携して避難所となる学校の整備を行い、地域防災力の向上に取り組んでいます。次号では、「災害に強い学校づくり」（後編）として、進行中の改築・改修プロジェクトにおける災害対策を特集する予定です。お楽しみに！

日本語学級の様子を紹介します！

「日本語学級」では、外国から来たばかりで日本語が分からない児童生徒、学校の授業で使う言葉の理解や活用が十分ではない児童生徒を対象として、学校生活を送ったり、教科等の授業内容を理解したりする上で必要な日本語の指導を行っています。日本語学級は、小学校3校、中学校2校に設置され、各校で特色ある学びが展開されています。

新河岸小学校



所在地：新河岸一丁目3番1号

日本語学級では、常に指導方法を研究しています。国語の教科書に合わせて自作の教材を作り、児童が手を動かしながら日本語の動詞を理解できるようにするなど、児童が楽しく学べるように工夫しています。

板橋第二中学校



所在地：幸町26番1号

中学校卒業後の進路を見据え、教科の学習と結び付けて日本語を学ぶことで、生徒が在籍学級での学習に参加できるようになることをめざしています。

ICTも活用しながら、生徒の学びをサポートしています。

板橋第八小学校



所在地：双葉町42番1号

児童がつながりのある国の文化などを紹介する学習発表会が行われました。保護者や友達の前で発表するため、児童は発表会に向けて一生懸命準備しました。終わった後は大きな拍手をもらいました。

志村第二中学校



所在地：小豆沢一丁目21番1号

志村図書館と連携し、母国の文化や歴史を紹介する作品を展示しています。母国のことも日本のことも、同じように理解を深め、生徒が日本でも自分らしく、生き生きと生活していく力を身に付けることをめざしています。

上板橋第四小学校



所在地：上板橋一丁目3番1号

日本語の指導に加えて、七夕や正月など、児童が日本文化への理解を深める学習を行っています。在籍学級の担任の先生や保護者と連携しながら、児童が安心して学校生活を送れるように支援しています。

日本語学級とは

日本語学級では、来日や帰国などで入学・編入学した児童生徒が、日本語を用いて学校生活を送ったり、学習に取り組んだりするために必要な日本語の指導を行います。

児童生徒は、週1～3回、1回1～2時間程度、在籍学級を離れて日本語学級で学習します。そのため、小学生等は、保護者による送迎が必要となります。

日本語の入門から段階的に日本語の指導を行うほか、日本の学校生活、学校行事等の意義なども学習し、日本での学校生活をサポートしています。

その他にも、児童生徒の日本語学習を支援するしくみがあります。

日本語適応指導

（日本語学習初期支援事業）

来日直後の日本語が話せない児童生徒を対象に、編入時期等に合わせて在籍校に講師を派遣し、日本語学習を実施します。

日本語基礎の学習を通じて学校生活においてコミュニケーションが取れるようになることや、日本の学校生活や社会生活に関する理解を深めること、学校生活に必要な文字や文型など日本語の基礎を学ぶことを目的としています。

通訳支援

（ことば支援員）

来日直後、または日本の学校に編入学したばかりの児童生徒を対象に、ことば支援員が通訳を行います。日本語習得のための初期支援、学習上の理解促進が目的です。授業中の通訳のほか、保護者との面談時の通訳も行います。利用できる回数には上限があります。

マルチメディア

デージー教科書

通常の教科書の文章をハイライトしながら、音声で読み上げることができるデジタル教科書です。2024年から、日本語の指導が必要な児童生徒も使用することができるようになりました。使用を希望される場合は、在籍校に御相談ください。

発行・編集

板橋区教育委員会事務局教育総務課庶務係

TEL:3579-2603 FAX:3579-4214

E-mail:ky-shomu@city.itabashi.tokyo.jp

〒173-8501 東京都板橋区板橋2-66-1



●より魅力ある情報を発信するために

いたばし教育チャンネルについて、アンケートにご協力ください。